

製品安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名: Ring Seal Smoke Repair リングシールスモークリペア

品番: 44416, RP-44416

用途: 自動車用燃料添加剤

製造者: Rislone 10386 North Holly Road P.O. Box 187 Holly, Michigan 48442 TEL: 1-810-603-1321

輸入総発売元 株式会社リークラボ・ジャパン (旧社名: 株式会社眞洋商会) 担当: 物部 智人

大阪市港区市岡元町3-3-21 TEL.06-6582-5497 FAX.06-6582-5495

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性:

火薬類	分類できない
可燃性・引火性ガス	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分4
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性個体	分類対象外
自然発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性個体	分類対象外
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

人健康有害性:

急性毒性 (経口)	区分外
急性毒性 (経皮)	区分外
急性毒性 (吸入: 気体)	分類対象外
急性毒性 (吸入: 蒸気)	分類できない
急性毒性 (吸入: 粉塵)	分類対象外
急性毒性 (吸入: ミスト)	区分外
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない

皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露)	分類できない
呼吸性呼吸器有害性	分類できない

環境有害性：

水生環境急性有害性	分類できない
水生環境長期性有害性	区分4

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報：

- 可燃性液体
- 皮膚刺激
- アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- 強い眼刺激
- 長期的影響により水生生物に有害
- 眠気又はめまいのおそれ（気道刺激性、麻酔作用）
- 長期又は反復ばく露による肺、皮膚の障害
- 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- 発がんのおそれ

注意書き：

【安全対策】

- 使用前に取り扱い説明書を入手すること。
- すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- 個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
- 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
- ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- 環境への放出を避けること。

【応急措置】

飲み込んだ場合、無理して吐かせないこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを用意を外せる場合には外して洗うこと。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当を受けること。

飲み込んだ場合は直ちに医師の診断、手当を受けること。口をすすぐこと。

眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当を受けること。

皮膚刺激があれば医師の診断、手当を受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

化学式又は構造式：下表の物質と報告義務のない添加物の混合物

成分/化学名	CAS Number	Wt.% (質量濃度)
水素処理重質パラフィン	64742-54-7	60-100%
エチレンプロピレンゴム	25038-36-2	<10%

4. 応急措置

目に入った場合：綺麗な水で目を洗淨。コンタクトレンズをつける場合は、コンタクトレンズを外して洗淨。もし炎症がひどくなるようであれば医師の診断を受ける。

皮膚へ付着した場合：付着部分を石鹼と綺麗な水で洗淨。汚染された衣服と靴を脱ぐ。再使用前、衣服をよく洗う。もし炎症がひどくなるようであれば医師の診断を受ける。

吸入した場合：新鮮な空気を摂取できる場所へ移動させる。毛布等で保温し安静に保ちすぐに医師の診断を受ける。呼吸しない場合には人口呼吸する事。

飲み込んだ場合：すぐに医師を呼ぶこと。無理に吐かせずに医師の指示に従い嘔吐・吐出させる事。

一般的なアドバイス：アクシデント又は気分が悪い場合は、すぐに医師の指示に従う。(可能な場合は商品のラベル若しくはSDSを医師に見せる。)

医師に対する特別注意事項：すぐに症状が出ないかもしれない。

5. 火災時の措置

引火性：WHMIS (作業場危険有害性物質情報システム) 基準を満たすことにより、引火性なしということ。

消火剤： 粉末消火剤、泡消火剤、ガス消火剤、二酸化炭素、霧水。

使用してはならない消火剤： 棒状放水、水噴霧。

燃焼生成物： 一酸化炭素。

爆発資料： 機械的な衝突への感知：分類できない。

静電放電への感知：分類できない。

消火を行なう者の保護：消火作業の際には防護・防火服、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器などを着用のこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護服及び緊急時措置：

眼、皮膚、衣服への接触や吸入を避ける。

飲食や喫煙前には、よく手や顔を洗うこと。-

作業者は適切な保護具（「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照）を着用する。

適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。

風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に立入る前に換気する。

漏洩しても火災が発生していない場合、密閉性の高い、不浸透性の保護衣を着用する。

回収、中和：

少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。

乾燥した土、砂あるいは不燃性物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。

大量の場合、盛り土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

環境に対する注意事項： 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

廃棄： 各自治体や廃棄物処理法等に従って焼却、埋め立てや廃棄をすること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱： 常温、換気の良い場所で取り扱う。

目に入ると軽度の炎症を引き起こす可能性あり。保護ゴーグル使用等、目に入らないようにする。

皮膚に長時間触れると炎症を引き起こす可能性あり。手袋を使用するなど皮膚に触れないようにする。

火災または高温体との接近を避けるとともにみだりに蒸気を発生させないようにし、吸引に注意する。

当該製品の吸収、掃除に使用した布類を持ち出さないこと。

取扱いの後十分に洗浄すること。一般的な化合物の取り扱い方法に則ること。

保管： 涼しく、乾燥した換気の十分できる場所に施錠して保管し、熱・点火源及び直射日光を避けること。

種類の異なる危険物は同一の貯蔵所において貯蔵しない事。

常に容器のフタをきつく閉めること。高温多湿の場所に保管することは避ける。

どんな目的であっても容器を再利用しないこと。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策： 必要に応じて通常排気装置を設ける。

WHMIS(作業場危険有害性物質情報制度)基準該当なし。

技術者の制御： 適切な換気を行なうことによって露出限界（ゴミ、煙霧、蒸気などの空気汚染基準を参照）

以下になるよう空気濃度を維持する事。

目の保護： 保護ゴーグルを着用すること。

皮膚の保護： 適切な保護服やグローブを着用すること。

呼吸器官の保護： 蒸気/ミストの吸引を避けること。必要に応じてマスクを着用する。

一般の衛生面への配慮： 労働衛生的で安全に従って取り扱う。

9.物理的及び化学的特性

外観：粘性液体	引火下限界：測定データ無し
色：琥珀色	引火上限界：測定データ無し
臭気：石油臭気	蒸気圧：測定データ無し
臭気限界：測定データ無し	蒸気密度：測定データ無し
pH：測定データ無し	比重（密度）：0.83-0.87g/cm ³ @20°C
粘度：66.3cSt @40°C	水への溶解度：溶解性なし
融点・凝固点：測定データ無し	オクタノール・水分係数：測定データ無し
沸点：測定データ無し	自然発火温度：測定データ無し
引火点：>135°C	揮発性、wt.%：測定データ無し
発火点：測定データ無し	揮発性有機化合物(VOC), wt.%：測定データ
蒸発速度：測定データ無し	分配計数（水・オクタノール）:>4.0 log POW @20°C

注意：ここで記載された物理的データは一般的な値であり、仕様として解釈されるべきではない。

10.安定性及び反応性

安定性：通常の手扱い条件下で安定。

反応条件：非両立性の物質。

非両立性の物質：強酸、酸化剤。

避けるべき条件：

酸化剤から離して保管してください。発火源を近づけないでください。喫煙しないでください。

危険な分解生成物：一酸化炭素、二酸化炭素、炭化水素。

危険有害反応可能性：

引火点を超えて加熱された場合、もしくはミスと状において空气中で爆発性混合物を形成する可能性あり。

11.有害性情報

急性被爆の影響：なし。

眼に対する重篤な損傷・刺激性：軽い炎症を引き起こす可能性有り。

皮膚感受性：目や鼻及び連続した吸入により呼吸器官に炎症を引き起こす場合がある。

長時間、又は連続した接触により炎症を引き起こす可能性有り。

飲み込んだ場合：有害になるかもしれない。胃の不調、吐き気、嘔吐を引き起こす可能性有り。

呼吸器感受性：気道刺激症状を引き起こす可能性有り。

慢性被爆の影響：該当なし。

特定標的臓器：分類できない。

慢性影響：作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

発がん性：作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

WHMIS(作業場危険有害性物質情報制度)基準を該当できない

突然変異誘発性：作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

生殖毒性：作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

発生效果：

催奇性：作業場危険有害物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

胎児毒性：作業場危険有害物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

呼吸の鋭敏化：作業場危険有害物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

肌の鋭敏化：作業場危険有害物質情報制度（WHMIS）の基準による、危険有害なし。

中毒学的相乗効果の物質：分類できない。

12.環境影響情報

水生生物毒性：長期継続的影響により水生生物に有害のおそれ

生態毒性：有用な情報無し

残留性・分解性：長時間の適応後に生分解性あり。

生態蓄積性：n-オクタノール/水の分配係数により、生物への蓄積は予想されない。（9. 物理的及び化学的特性 参照）

土壌中の移動度：有用な情報無し

下水道中の運動：有用な情報無し

PBT・vPvB：該当しない

他の副作用：有用な情報無し

13.廃棄上の注意

廃棄：回収、リサイクルができない場合、廃棄は各自治体の規制、廃棄物処理法等に従うこと。

下水処分は行わないこと。

特別な指示：指導が必要であるかどうか必ず適切な政府環境機関に連絡・確認すること。

容器の洗浄が完了するまではラベルを剥がさないこと。

容器は再利用、もしくは、自治体の指導に従い埋め立てまたは焼却処分すること。

洗浄剤による容器洗浄を行うこと。

14.輸送上の注意

国連分類及び国連番号：該当しない

TDG分類：規制対象外

IMDG分類：規制対象外

IATA分類：規制対象外

共通注意事項：取扱い及び保管上の注意の項を参照するほか、運搬に際しては容器に漏れがないことを確認し、落下・損傷しないように注意する。

15.適用法令

国連規則

SARA：規制対象外

TSCA：適合する

IARC：規制対象外

国内規則

消防法：第四類第三石油類

16.その他の情報

引用文献等:

- (1) GHS対応ラベルおよびSDSの作成マニュアル（厚生労働省医薬食品局）
- (2) 化学物質総合情報提供システム（製品評価技術基盤機構）
- (3) 日本工業標準調査会JIS Z 7253

記載内容：ここに記載されている情報は知りうる限りの情報に基づいて作成しておりますが万全ではありません。またいずれの情報もこれを保証するものではありません。危険について述べておりますが、危険の存在可能性のみを記載しているものであり補償の対象ではなく、安全の保証をするものではありません。注意事項は通常の手扱いを前提にしたものですので、化学品の適合性の最終決定責任者は使用者自らであることを理解し、用途に適した安全対策を講じた上でご利用願います。

－SDSの終了－